4

茨城県の 道路整備 状況

H18年度以降に 完了する 道路事業

一般国道6号 榊橋

事業概要

- ●一般国道6号(日立市南部)では、主要渋滞ポイントである大和田町交差 点を中心に慢性的な渋滞が発生しています。
- ●一般国道6号榊橋は、昭和5年に一級河川久慈川に架設された延長324mの コンクリート橋で、橋梁の著しい老朽化のほか、狭小な幅員(7.5m)、未整 備の歩道など様々な要因から橋梁の架け替えが求められています。
- ●平成17年度は下り方向の橋梁工事を実施しました。 (上り方向は供用済み)

期待される 効果

- ・老朽化した橋梁の掛け替えにより耐震性が向上し、 地震時の安全性、信頼性が向上
- ・平均旅行速度が11km/h向上

整備箇所 位置図 至東京 那項市 常陸太田市 本本人間 上っ2.3km 日立市 本・・主要渋滞ポイント 平成11年3月暫定2車線供用 L=1.0km

整備 箇所写真





一般国道6号 牛久土浦バイパス

事業概要

- ●一般国道6号のJR牛久駅(牛久市)や荒川沖駅(土浦市)周辺では、車が多く、慢性的な渋滞が発生しています。
- ●牛久土浦バイパスは、こうした渋滞をへらすため、牛久市や土浦市荒川沖 の市街地を通らない道路として計画された約15.3kmの道路です。
- ●平成17年度は学園西大通り~学園東大通りの用地買収と工事を実施しました。

・牛久市や土浦市市街地の渋滞緩和 期待される 効果 ・広い歩道による歩行者の安全性・快適性向上 ・圏央道のつくば牛久IC接続による利便性向上と地域活性化 整備箇所 位置図 (平成4年度 平成6年4月21日 都市計画決定 L=15.3km 首都圖中央地灣用動車道 整備 状況 牛久土浦バイパス 圏央道つくば牛久IC接続部

4

茨城県の 道路整備 状況

H18年度以降に 完了する 道路事業

主要地方道土浦竜ヶ崎線

事業概要

- ●主要地方道土浦竜ヶ崎線は、茨城県南部の中核都市である土浦市と龍ヶ崎市とを結ぶ重要な幹線道路です。一日あたりの現在の交通量は約25,000台と大変多く、平成18年度供用開始予定の圏央道(仮)阿見ICへのアクセス道路であることから、今後、更なる需要が見込まれています。
- ●土浦竜ヶ崎線の現道は、牛久市結束町地内より北側は2車線であり、特に 国道408号との交差点がある牛久市岡見町では、朝夕の渋滞が著しく、通 過に10分以上かかります。
- ●平成17年度は工事を実施しました。

期待される 効果

- ・土浦~竜ヶ崎間の渋滞解消
- ・圏央道(仮)阿見ICへのアクセス時間短縮



一般国道355号 石岡岩間バイパス

事業概要

- ●国道355号は北関東自動車道・国道6号・50号・51号と連結し茨城県中央部 の幹線道路網を形成する路線です。
- ●通勤時間帯には、岩間市街地で渋滞が発生しています。また、幅員狭小かつ線形不良となっていることから、歩行者・自転車にとって安心できない 状況となっています。
- ●今後も交通の増加が見込まれることから、円滑な交通の確保・アクセス機能の強化を目的としています。
- ●平成17年度は工事を実施しました。



4

茨城県の 道路整備 状況

H18年度以降に 完了する 道路事業

北関東自動車道

事業概要

- ●北関東自動車道は、茨城県ひたちなか市から群馬県高崎市に至る約150km の高速自動車国道で、東北縦貫・関越・常磐の3つの高速道路と連絡しま す。
- ●大型流通港湾である"常陸那珂港"や民間共用化が予定されている"百里飛行場"、さらには草津温泉・世界遺産である日光・ひたち海浜公園などの観光スポットを結び、北関東地域における物流・総合開発推進の基盤としての役割を果たします。
- ●平成17年度はトンネル工事等、各種工事を実施しました。

期待される 効果

- ・筑西市が常陸那珂港1時間圏域に
- ・水戸~宇都宮間が1時間40分⇒1時間に



首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

事業概要

- ●圏央道は、都心からおよそ半径40~60kmの位置に計画されている総延長約300km(茨城県内は約71km)の自動車専用の道路です。
- ●神奈川県、東京都、埼玉県、茨城県、千葉県を結ぶため、県内はもちろん、 多くのまちの間で人や物の行き来がさかんになり、都心に集中していたさ まざまな都市機能が圏央道沿線の多くの都市に分散され、まちが活気づく ものと期待されます。
- ●平成17年度は用地買収や工事を実施しました。

